

第19回 全国中学生創造ものづくり教育フェア
木工チャレンジコンテスト九州地区大会
兼全国大会予選会実施要項(案)

1 目的

社会では知識や情報、技術等が急速に変化していく中で、身の回りにある技術を使いこなす側面だけでなく、新しいものを生み出す力や、ものをつくる活動を通して生み出された技術に対して評価する力等が、今後求められています。このような力を養うため、本コンテストは、生徒一人一人が中学校技術・家庭科で学習した成果を発揮する場として、中学生のためのものづくりの技術を競う全国大会の九州地区予選を行う大会です。

ものづくりの技術を考える上で、木材を中心とした身近な材料を利用して、設計や製作を行い、完成した製作品のプレゼンテーションを通して評価するとともに、ものづくりの技術を考える交流を通して、広く社会に貢献する人材を育成することを目的とします。

2 名称

第19回 全国中学生創造ものづくり教育フェア 木工チャレンジコンテスト九州地区大会

3 主催

全日本中学校技術・家庭科研究会 全九州中学校技術・家庭科教育研究協議会

4 共催

日本産業技術教育学会木材加工分科会九州支部 長崎県中学校技術・家庭科教育研究会
長崎県中学校文化連盟

5 後援

長崎県教育委員会 長崎市教育委員会 長崎県産業教育振興会 長崎大学教育学部

6 参加対象・申込み方法

九州各県大会において選抜された中学生（14名以内）

※各県の参加は原則として2名までとします。各県の参加状況により、参加追加ができる場合もあります。

（その場合の代表枠は後日お知らせします。）

※参加申込みは必ず各県研究会事務局を通じて申込んでください。【10月15日（月）まで】

7 日時

平成30年11月17日（土）

9：30

集合

9：40

開会式

10：10

競技開始

12：10～13：00

昼食休憩

15：00～15：30

片づけ

15：40

プレゼンテーション（一人2分以内）

16：10

閉会式

8 会場

長崎県立長崎東中学校

長崎県長崎市立山5-13-1

TEL 095-821-4642 FAX 095-823-5472

9 競技内容

全国大会のルールに準じて行います。（一部簡略化） <http://www.ajgika.ne.jp/>

10 競技方法

『課題』 与えられた材料を活用して、生活や社会の問題を木工の技術により解決できる作品を設計・製作すること。ただし、以下の①競技規定を満たすものとする（構想作品の例：高齢者又は幼児のための作品、学校又は家庭で役立つ作品など）。

① 競技規定

- ・事務局より出された競技課題をもとに、4時間以内に完成すること。特に仕上げ工程（ただし、塗装作業を除く）を疎かにしないように各工程の時間配分を考えた設計に努めること。
- ・作品の大きさは、3辺の合計が160cmまでとする。
- ・製作工程において、さしがねによるけがき、のこぎりによる切断、平かんなによる部品加工、くぎ打ちによる組み立て、定規等による検査、紙やすりによる仕上げ作業を含むこと。

② 大会事務局から与えられる材料は所定の寸法

- ・ヒノキ集成材（寸法：t15×W200×L900、数量：2枚）
- ・シナ合板（寸法：t4×W450×L450、数量：1枚）

③ 以下に示すものについては、大会本部で準備する。

- ・紙やすり（研磨紙 240番、80番） ・木工用接着剤 ・捨て板 ・バケツ ・ちりとり
- ・箒 ・木工万力（各1台） ・工作椅子
- ・工作機械として卓上ボール盤と糸のこ盤を各2台程度準備する。

④ 以下に示す必要な木工具は各自持参すること。個数は限定しない。ただし、持ち込める工具の種類は、現在中学校で使用されている技術・家庭科教科書（現行学習指導要領準拠）に掲載されているものに限る。

- ・さしがね ・直角定規 ・両刃のこぎり ・平かんな ・くぎ抜き ・くぎしめ ・げんのう
- ・四つ目ぎり ・はたがね ・C (G) クランプ ・L (F) クランプ ・削り台
- ・ドリル刃、糸のこ刃（希望者のみ）

⑤ 以下に示すものについては、当日各自で準備する。

- ・作品の構想図や材料取り図
- ・鉛筆（赤鉛筆を含む）、鉛筆削り、消しゴム
- ・接合金具（釘、木ねじ、ボルトナット、ノックダウン金具、補強金具、蝶番）、取手、フック、マグネットキャッチおよびその取り付けに必要な手工具（三つ目ぎり、ドライバー等）。

⑥ 工作台については、大会本部では参加生徒の利き腕を考慮して準備しない。

11 評価の観点

- A 関心・意欲・態度（製作競技中の態度）
- B 創意・工夫（作品の創意・工夫）
- C 知識・技能（作品の固定、工具の持ち方、作業身体動作など工具の合理的な使用に関する知識と技能の習得）
- D 作品の精度（作品の仕上がり精度、材料の使用法）

12 審査委員（予定）

長崎大学教育学部教員、熊本大学教育学部教員、福岡教育大学教育学部教員、宮崎大学教育学部教員、鹿児島大学教育学部教員、佐賀大学教育学部教員、大分大学教育学部教員、琉球大学教育学部教員

13 表彰

1～3位、優秀賞、優良賞など ※成績発表は大会当日に行います。

（上位2名の生徒は、来年1月に東京で行われる全国大会への出場権が得られる。ただし同一県からは1名とする。なお、第3位以降についても順位を決め、枠の変更や出場辞退による繰り上がり出場の確認を当日行うこととする。）

14 その他

- ・大会参加費は当日1000円徴収します。
- ・ものづくり技能検定1級の資格認定を希望する者は別途1000円が必要です。
- ・全国大会については、九州事務局が結果と出場者を全国事務局へ連絡し、出場の手続きは参加校で行う。
- ・事務局は宿泊の手配はしません。ただし、弁当の注文は参加申込時に、学校毎まとめて受け付けます。

15 問い合わせ先

長崎県中学校技術・家庭科教育研究会 木工チャレンジコンテスト事務局

大村市立大村中学校 垣内 光洋

〒856-0048 長崎県大村市赤佐古町78番地

TEL 0957-53-1333

FAX 0957-53-2127

E-mail omura-tyu-t@city.omura.nagasaki.jp